

●ガバナー 田中 常浩 ●会長 清川 浩幸 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 中村 澄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2231 回 例会 記録

《ロータリー財団委員会担当例会》

2022 年 11 月 24 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1663



吉田 S A A



《会長要件》清川会長



早くも新年度もスタートして 5 ヶ月が経ちます。何をしてきたか正直言って覚えていないと言った方が良いほどの状況です。幹事を始め役員理事、そして会員皆さんの協力のもと目の前のことを行ってただけです。

RI Japan Office よりクラブ・地区支援室メッセージが届きました。

これを見て再度方針を思い出してみました。クラブ会長方針で会員皆さんの思う活動がしやすい様にする事が私の目標でした。

ここで、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長の講演記事が英語版の Rotary 誌 2022 年 10 月号に再度掲載されていますのでご紹介いたします。

2022 年 1 月の国際協議会の前に行われた次期ガバナーへの講演で、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長は、あるロータリー会員の話をしました。会員歴 30 年のその会員は、地元の子どもたちにコートを提供するプロジェクトに参加して初めて、ロータリーを完全に理解しました。「想像してください。彼は、ロータリーを理解するまでに、1,500 回以上の例会に出席したのです」

これは彼だけの問題ではないと指摘するジョーンズ会長は、「会員の参加を促さなければならない」と強調します。会員がロータリーに何を求めているかを聞き出し、有意義な役割を担ってもらう必要があります。「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。これが私たちの責任です。会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできません。会員にとって居心地のよい場所とし、会員への気配りがなければ、ロータリーの力を本当の意味で理解してもらうことはできないでしょう」

このように言われて、会長の責任はいかに重いかと痛感した次第です。

《出席報告》出貝委員長



正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 21 名。出席率は 77.8%です。

ジョーンズ会長の言葉を念頭に、会員への気配りをする上での 6 つのヒントをご紹介します。これらは、大きな成果をあげている 3 つのクラブをヒントにしたもので、いずれもジョーンズ会長の言葉に沿っているものであることがお分かりいただけるでしょう。

1 会員一人ひとりの情熱・関心を把握し、それに合った機会を与える

ノースコブカウンティ・ロータリークラブ (米国ジョージア州) は、わずか 6 年余りで、会員数 33 人から 70 人以上へと成長しました。同クラブ会長のナンシー・プロチャスカさんは、新会員の活躍を引き出す体系的なプロセスが成功のカギだと考えています。クラブは入会候補者と話しあう機会を設け、どのようなプロジェクトや活動への熱意があるかを把握し、入会後はそれに合った役割を与えるようにしています。

当クラブの私の年度では皆さんの意見ではなく私の意志で所属委員会を決めてしまいました。正直な所皆さんが実際これをやりたいと思っている事があったと思います。それが出来なかったということ、ここで強く言われているような気がします。

2 柔軟に対応する

出席とクラブ形態について認められている柔軟性を、クラブに取り入れましょう。コルビル・ロータリークラブでは毎週、昼食例会を開いていますが、奉仕プロジェクトや交流行事も毎月、午前中か夕方に開催しています。「特に若い会員の中には、毎週出席するのは難しいけれど、奉仕に貢献したいという人たちがいます」とグローブスさん。「ハイブリッド形式が有効だと思います。若い世代を取り込むには、そ

ういうことも必要なのです」。

例会の形にはとらわれなくて、当クラブでは zoom を活用して、ハイブリット例会を行っていますので、これはクリアしているのかなと思います。3 つ目のテクノロジーを活用するという項目も基本的にはそういうことです。

3 テクノロジーを活用する

新型コロナへの懸念が薄れ、直接対面式の例会が再開された後も、コルビル、エドモントン・サウスイースト、ノースコブカウンティの各クラブでは、オンラインで例会に参加する選択肢を認めています。「技術的に難しいと感じる会員もいますが、サポートできる会員もいます」と、プロチャスカさん。イワートさんは、バーチャル形式の選択肢によって講演者の幅が広がると指摘し、グローブスさんも「より大きく、より良い、よりクールな話をするができる」と付け加えます。また、テクノロジーを活用しているクラブは、若い入会候補者にとっても魅力的です。「若い人たちは、迅速かつ効率的に情報が得られることを期待しています」とプロチャスカさんは話します。「それができないとなるとがっかりするでしょう」

zoom が難しい方には、吉田立盛さんや西尾さんという強い味方がいますので、恥ずかしがらずに聞いてください。聞くことは恥ずかしい事ではありません。私も皆さんに色々と聞いてやっているのが現状です。

4 ロータリーの研修への参加を奨励する

プロチャスカさんは、クラブ会長エレクトのときにロータリーリーダーシップ研究会に出席し、さまざまな手続きについて学びました。「研修に参加する人は輝いているように見えた」と語る彼女は、より多くの会員が参加できるよう、研究会主催者にクラブの近くで研修セッションを開催するよう呼びかけました。また、イワートさんも次のように話します。「私はいつも、次期クラブ会長や幹事がクラブ会員全員とコミュニケーションを取れるよう、必要な研修を受けられるようにすることを地区に伝えています。そうすることでクラブのリーダーたちも、自分たちが重要な存在なのだと実感できるようになるはずですよ」

私が入会したころはクラブの中で研修をしていたできました。黒田先生に講師をお願いしたときには、他のクラブからも参加希望者がいらっしやって、南グループから多くの皆さんを迎えての大きな勉強会になったような記憶があります。いまはコロナの中でそのような形では出来ないの、非常に寂しい事だとは思いますが、なんとか続けて行ければいいな、早くコロナが収まってほしいなと感じています。

5 社会奉仕プロジェクトの機会にクラブの公共イメージを向上させる

ノースコブカウンティ・ロータリークラブは、地元

ト（食料の提供やコロナ禍での医療従事者支援など）を実施することで、高い知名度を維持しています。クラブでは、毎年 1,000 人もの人びとに食事を提供する感謝祭ディナーを名物行事としています。会員たちの誇りでもあるこのプログラムは、コロナ禍でも継続され、屋外で食料が受け取れるよう配慮がなされました。「いつもメディア関係者を招待しており、この活動で私たちのクラブは有名になりました。どこに行っても『感謝祭のおばさんだ！』って言われます」

私たちは奉仕活動、よろず相談にしても清掃活動にしても取材依頼をして新聞に掲載していただいておりますが、メディアを招待するということは考えていなかったなと思っています。簡単に言えばデーリー東北さんやテレビ局を巻き込むような活動が出来れば、もっと、もっとと有意義な形になれるのかなとどうイメージを持ちました。

6 親睦の大切さを忘れない

グローブスさんは、2015 年にコルビルに引っ越してきたとき、人びとに会い、地域についてもっと知りたいと感じたことを覚えています。ロータリーへの入会で、それが満たされました。「ロータリーでの活動が魅力的なのでクラブに留まっていますが、入会のきっかけは親睦でした」

やはり親睦が一番大切だ、仲間意識を深めるには親睦が一番大切だということを改めて言われたような気がします。

ところで皆さん、自分の所属委員会を覚えていますか？今年度の一番最初の例会で、伊藤さんの協力のもとに作成しました皆さんの名刺、八戸南ロータリークラブの名刺をお渡ししていますが、少しは減りましたでしょうか？

コロナ禍の中ですので難しい事ですが、会社の名刺と一緒に渡してビジネストークに役立てて下さい。

《結婚記念日》



小原会員

《幹事報告》慶徳幹事



・ザ・ロータリアン英語版が届いています。
・先週の例会でお見せした南浦項ロータリークラブへのお祝いビデオメッセージをユーチューブへ限定であげています、メールアドレスのある会員の皆様にはメールにてご案内していますが、アドレスのない会員にはレターボックスに資料を入れてありますのでご覧になって下さい。

《ニコニコボックス》松橋副委員長

清川会長：今日はロータリー財団委員会担当例会です。熊谷副委員長よりよろしくお願いいたします。

慶徳幹事：ロータリー財団委員会、熊谷副委員長よりよろしくお願いいたします。

熊谷会員：今日はよろしくお願いいたします。

結婚記念日：小原会員



《ロータリー財団委員会》熊谷副委員長



皆さんこんにちは、ロータリー財団副委員長の熊谷です。松田委員長の体調がすぐれず、ここしばらく出席できておりませんので、今日は代理で担当させていただきます。

日頃、会員の皆様にはロータリー財団にご理解、また、ご寄付を頂き有難うございます。

最初にロータリー財団の定義です、「ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。」

皆様のご寄付が世界にもたらす影響としまして、

1. わずか 60 セントで 1 人の子供をポリオから守ることが出来ます。
2. 50 ドルで水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を供給する事が出来ます。
3. 500 ドルでいじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子供達に安全な環境を作ることが出来ます。等があります。ここ最近はや安が進んでいて、今月のロータリーレートは 1 ドル 148 円、ひとところに比べますと 2 倍近く上がっています。ここ 1～2 週間くらいは国のテコ入れがあったようで、今朝のニュースで 1 ドル 139 円と円高傾向です。ちなみに、2012 年、私が会長の時は 1 ドル 90 円台でした。

今、皆様をお願いしているのは、今年度のガバナーの目標である、ロータリー財団へ 150 ドル、ポリオプラスへ 30 ドル、合わせて 180 ドルです。今月で言いますと合わせて 26,640 円になります。

また、皆様のテーブルに缶が置いてあります。国際平和資金ですが、これも目標があります。年間 1 人 1,500 円です。ポケットに 100 円玉が余っていたらカランと入れて頂けたらと思います。(カラン、カラン) 早速ありがとうございます。昨年度は当クラブの 3 分の一の会員分のご寄付を頂きました。今年度はまだ少なくて現在 4 名分の寄付を頂いております。

財団への 150 ドル、ポリオプラスの 30 ドルですが、一度に 180 ドル全額寄付をしていただかなくても、例えば毎月 30 ドルずつ 6 回に分けて寄附して頂いても構いませんし、今年度の田中ガバナーが地区目標の中に掲げておりますけれども「ロータリー財団自動定期寄付の推進」と言うのがありまして、マイロー

タリー内にその項目のページがあり、設定をすると毎月、又は四半期に一度、毎年と自分で決めた頻度で定期的に寄付が出来るシステムもあります。その時にはクレジットカードの登録が必要になりますけれども、分割でのご寄付も出来るということでございます。今後も皆様のご協力をお願いいたします。さっきから缶がカラン、カラン鳴って心地よい音が聞こえてきています。ありがとうございます。

ロータリー財団の活動の中には、地区補助金というものがありまして、これは前の実績ですけれども地区内の 40 クラブのうち 36 クラブがそれを活用して「社会奉仕」に取り組んでいます。当クラブも毎年開催しているよろず相談に活用させてもらっています。8 月の地区財団セミナーで発表がありましたが、今年度分の申請は 10 クラブに満たないみたいで、コロナによる影響が大きいようです。人が集まるイベントにリスクを感じているのでしょう。

さて、ロータリー財団は 2016 年に 100 周年を迎えました。6 年前になりますが、当時の例会やロータリー財団担当例会等でもお見せしたと思いますが、当時入会されていない方もいらっしゃると思います。ここで当時公開された動画をご覧いただきたいと思います。(動画) 先程、お 1 人 30 ドルとお願いしたポリオプラスへのロータリアンの寄付は、専門家によるプランニング、ワクチンの効果の人びとに知らせるための大規模な情報伝達活動、戸別訪問をするボランティアの支援に使われます。ということです。ここでまた一つ次の動画を見ていただきますけれども、RI 第 2500 地区の YouTube チャンネルにポリオプラスとロータリーに関するアニメーションの動画がありますので、その動画を見ていただきます。(動画) 動画の最後にもありましたがロータリーのクレジットカードがあります。これが現物のロータリーカードですが、これを使うと 0.3%の寄付になります。以前は、申込用紙での申込でしたが、現在は web からの申し込みになっています。このカードを利用しますと、ショッピングで利用した金額の 0.3%が財団に寄付されます。この寄付は個人やクラブの年次基金には加算されませんが、貯まったポイントを交換すると、そちらは個人の年次基金として加算されます。ご興味のある方は「ロータリーカード」で検索してみてください。マイロータリー内にも案内があります。

申込をする時には、クラブの番号、個人の会員番号などが必要になります。半期に一度、年会費を収めて頂いた際、事務局から名刺くらいの大きさの会員証を渡されていますが、そちらに記載されています。もし、分からない方は事務局にお問い合わせいただければと思います。皆さん是非お作りになって下さい。

最後になりますが、今日の担当例会は事務局の赤穂さんに全面的にご協力いただきました。赤穂さんありがとうございました。

以上を持ちまして、ロータリー財団担当例会の発表を終わります。